

しなののうた

雪少し融けゆく中のぬかるみをペンギンのごとよちよち歩く



杉田小百合

しなののうた

福は内鬼は外なる節分の声まばらなる高齢社会

杉田小百合



しなののうた

雪がなく寒さ緩みて寒椿ほっこりと咲く廃屋の庭



杉田小百合

しなののうた

日脚伸びぽかぽか陽気の昼下がりがり蠅のろのろと床這いめぐる

杉田小百合



しなののうた

節分に恵方を向いて寿司食べる  
その習慣はいつの頃なりや



杉田小百合